

信仰の創始者であり完成者であるイエスから、目を離さないでいなさい【ヘブル 12:2】

第一主日礼拝 【第一部】 午前 9:00-10:00
 【第二部】 午前 11:00-12:00
 (第二部は YouTube 同時配信)

前奏・黙祷

招 詞 イザヤ書 4章5-6節 (旧約 1173)
 賛 美 生くるかきもなしと (インマヌエル 312)
 交 読 詩篇 78篇 52-72節 (旧約 1016)

主の祈り・使徒信条

聖書朗読 エレミヤ書 1章1-10節 (旧約 1283)
 牧者公祷 (換気を行います)

説 教 『主のことばがあった』 松井元始牧師

応答のとき

賛 美 信仰が持てたら (インマヌエル 600)
 頌 栄 父・御子・御霊の (インマヌエル 7)

祝 祷
 後奏・黙祷

* * *

報 告

【献金は週報に添付の封筒を用いて、入口の献金かごにお入れください】

〈司会〉 〈奏楽〉 〈受付〉 〈聖書朗読〉 〈感謝祈祷〉

【第1部】松井師 牧子師

【第2部】松井師 牧子師

配信をご覧になれない方には CD を後日お届けできます。お申し出ください。

『主のことばがあった』 (エレミヤ書 1章1-10節) 2022.7.3.

〈はじめに〉 それぞれの人生には転機があります。自分の歩みの転機にどんなことがありましたか。そのきっかけは何ですか。

I 39年前の証し

① その頃の私

教会学校教師も楽しく、充実していましたが、人前で語るのは依然苦手でした。教会の奉仕や牧師の手伝いは嫌いではありませんが、牧師には向いていないと思っていました。だから、就職して、一信徒として教会を支えたい、と思って祈っていました。

② みことばをください

最終学年で「就職のためにみことばを与えてください」と祈っていました。主の導きと承認をみことばに見出すためですが、一向にこれというみことばが与えられません。面接に行く日が迫る中、「とにかくみことばをください」と祈りが変わるほど切羽詰まっていた。

③ 主のことばがあった

7/3の朝、聖書通読はエレミヤ書1章でした。読み進む中で主が私にも語られ、「わかりました。あなたがそう仰るなら」と受け取って立ち上がりました。その後、エレミヤの生涯と役回りを知るほど、「どうしてですか」と度々尋ねながらも、この聖句に支えられてきました。

II 預言者エレミヤ

① 出自と時代(1-3)

アナトテはエルサレム北東約 4 kmの寒村で、その地の祭司ヒルキヤの子としてエレミヤは育ちました。南ユダ王国のヨシヤ王は宗教改革を推し進める中、彼は預言者として活動開始し(BC627頃)、バビロンによるエルサレム陥落後まで奉仕しました(BC583頃)。

② 「わたしは、あなたを…」(4-8)

エレミヤが 20 歳頃に主のことばがありました。主は彼を生まれる前から知り、聖別し、預言者と定めておられました。しかし、彼はまだ若く、語るに乏しさを覚え、躊躇しますが、それも主は問題視せず、同行と御守りの約束の下で派遣し、メッセージを伝えるよう命じます。

③ 主は御手を伸ばし(9-10)

語るに乏しさを覚える彼に、主は触れてことばを授けた、と言い切られます。派遣先は諸国の民と王国で、主がそれらの上におられることを示すことになります。具体的な6つの役割は、先に否定的側面がありますが、その後に回復・再生を促すことも含みます。

III 主のことばと私

① 主は語られる

公の場でも、密かな面談でも、主は個人に明確に語られます。出来事や物事の流れ・雰囲気は傍証です。ご自身の思いと計画をみことばのうちに示し、導かれます。ですから、「わが主は、何をこのしもべに告げられるのですか」(ヨシュア 5:14)と祈り尋ねるのです。

② 主は定められる

主はご計画をもって一人ひとりを造られました。不可避な運命ではなく、信頼と受容をもって各自が受け取るものです。個性や経験も、弱さ・乏しささえも主の御手の中にあり、ご自身の栄光のために用いられます。主のみこころをしっかりと受け取っていますか。

③ 主は授けられる

主は、計画の遂行のためにその人に必要なものを与えてくださいます。悩みや乏しさ、困難が全くないわけではありませんが、自分の願望や理想も主の足元に置き、委ね続けるとき、主は常に満たしてください。

〈おわりに〉 主はみことばをもって今も語り続けておられます。個人的にそれを聞き、とらえて歩むことが神と共なる歩み、信仰生活です。これまでも、これから主のことばが私に響き渡り、それを受け取って進んで行くお互いでありませうに。(H.M.)

インマヌエル王子キリスト教会 牧師: 松井元始・牧子

〒114-0023 東京都北区滝野川 1-41-6 Tel 03-3910-4529

HomePage: <https://igm-ouji-church.jimdo.com/>

E-mail: immanuelojichurch@gmail.com

銀行振込: みずほ銀行 王子支店 普通 1364893

